

機敏な動きに力強い放水

《2026年》
8/30

秋季消防演習

白糠消防団（桐原千里団長）と釧路市西消防署白糠支署（藤田寛支所長）の秋季消防演習が白糠消防庁舎で行われ、団員と署員の計70人が有事を想定した訓練などを実施し、連携を確認しました。

小型ポンプや消防ポンプ自動車を使った訓練展示では、隊員たちが迅速にホースを展開し、的確な操作で放水するなど、日頃の訓練の成果を披露しました。



標的に向かって的確に放水する団員

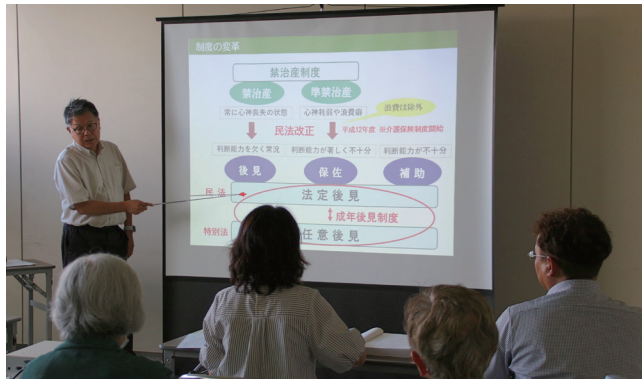
地域の身近な支援者として

《2026年》
8/27

市民後見人養成講座

成年後見制度の担い手として、地域住民の視点で後見業務を行う「市民後見人」の養成講座がスタートしました。

今年の養成講座は11人が受講しており、そのうち4人が初めての受講者です。受講者は10月まで計11回の講座を通して、制度の概要や市民後見人の役割などを学んでいきます。



講師の説明を受ける受講者

庶路学園と恋問館を視察

《2026年》
9/1

ミクロネシア連邦の駐日大使が来町

オセアニア地域ミクロネシア連邦のジョン・フリッツ駐日大使が来町し、庶路学園と道の駅しらぬか恋問館を視察しました。

庶路学園では学校見学のほか、教育の特色などについて川島眞澄教育長から説明を受けました。恋問館では合併処理浄化槽について設置業者の話を熱心に耳を傾け、本町の施設や取り組みに関心を寄せていました。



恋問館を視察するジョン・フリッツ駐日大使（中央）

ナイスショット連発

《2026年》
9/1

交通安全パークゴルフ大会

町交通安全運動推進協議会が主催する、交通安全パークゴルフ大会が逍遙公園パークゴルフ場で開かれ、54人が熱戦を繰り広げました。

男性の部は、優勝が佐藤隆一さん、準優勝が石川新一郎さん、3位が瀬戸忠義さん。女性の部は優勝が宮田比呂子さん、準優勝が山本浪子さん、3位が木屋和子さんという結果となりました。



カップをめがけてスイングする参加者

レジェンドから技術を学ぶ

《2026年》
8/18
~19

永原和可那さんによるバドミントン教室

五輪に2大会連続で出場したほか、世界選手権で連覇を成し遂げた元バドミントン選手の永原和可那さんによるバドミントン教室が総合体育館で開かれました。町内で競技に励む20人の小中学生が参加し、世界で活躍したレジェンドから技術や考え方などを学びました。

教室は講演会と技術指導の二本立てで行われました。講演会では、自身の競技人生を振り返り「小中学生の時は全国レベルの選手ではなかったが、意識を変えて取り組んだことで世界一になれた。だからみんなも目標を高く持つことで、より良い結果を残せる可能性がある」と語り、世界一に至るまでの具体的な道筋を紹介し、目標に向かうまでの取り組み方を伝えました。

技術指導では、実際に手本を見せながら攻守の技術を丁寧に指導し、最後には「一日で強くなることはない。今日学んだことを反復して練習することが大切」と継続することの大切さを説きました。白糠学園7年の齊藤惺菜さんは「教わったことを生かして、地区大会で優勝できるように頑張る」と話していました。



講演会で「そば屋巡りが趣味」とも話した永原さん



アドバイスを送る永原さん（右）

懐かしの音楽がたくさん

《2026年》
8/21

西庶路がんばろう会で音楽を楽しむ集い

西庶路の介護ボランティア団体「がんばろう会」で音楽の集いが開かれ、会員とボランティア合わせて14人が参加しました。

集いでは、町内外で音楽を通じたボランティア活動を行っている民生委員児童委員の笠原邦夫さんが電子ピアノの演奏を披露したほか、合唱や音楽クイズを実施し、参加者は楽しい音楽のひとときを過ごしました。



合唱を楽しむ会員と笠原さん（中央）

犠牲者に祈りを捧げる

《2026年》
8/19

交通事故死者慰霊祭

町交通安全協会（小松嗣明会長）主催の「第51回交通事故死者慰霊祭」が、和天別の交通事故死者供養之塔前で行われました。参列した16人が犠牲者の冥福を祈り、小松会長は「事故の根絶に向けて一層の努力を尽くす」と決意を新たにしました。

会場では事前に白糠ロータリークラブ（進藤卓嗣会長）が地域貢献活動として草刈り作業を実施しました。



交通事故の犠牲者に祈りを捧げた慰霊祭